

○対称な図形 ～多角形と対称～ 第9時 教科書P.19

学習を始める前の準備と注意です。

- ・三角定規、ものさしを使います。準備しておきましょう。
- ・教科書P.19の学習です。教科書を見なくても、このプリントで学習できます。

ここから学習スタート！ では、問題です。

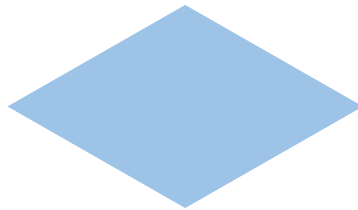
- 1) これまでに学習した多角形について、線対称な図形か、点対称な図形か調べましょう。

ここまでの学習を生かして、下の四角形について調べ、表にまとめよう。

- (1) それぞれの図形に、対称の軸や対称の中心があれば、すべて書き込もう。



平行四辺形



ひし形



長方形



正方形



台形



等脚台形

(2) (1)で調べたことから、表中の平行四辺形の例を参考にして、それぞれの四角形の特徴についてあてはまる記号や数を記入しよう。

| | 線対称 | 対称の軸の数 | 点対称 |
|-------|-----|--------|-----|
| 平行四辺形 | × | 0 | ○ |
| ひし形 | | | |
| 長方形 | | | |
| 正方形 | | | |
| 台形 | | | |
| 等脚台形 | | | |

(3) (1)の図や、(2)の表を見て、気付いたことをか条書きで書こう。

国づくりへの歩み④

教科書 p88～p89

組 番 氏名 ()

【めあて】大昔の人々のくらしはどのようなようになっていったのかをまとめましょう。

○自分の学習をふり返り、星の数で評価しましょう。



1 縄文時代、弥生時代、古墳時代の特徴をまとめましょう。

| 時代 | 主な遺跡 | くらしの様子 | 人々の関係 |
|------|----------------|---|--|
| 縄文時代 | 三内丸山遺跡 | ○()や漁をしたり、()などを探集したりしました。 ○()土器を使いました。 | ○みんなで協力して家を建てたり、土器をつくったりしていました。 |
| 弥生時代 | 登呂遺跡 吉野ヶ里遺跡 | ○()づくりが始まりました。 ○それまでより安定して()を得られるようになり ました。 ○むらの人口が増えました。 ○まわりに()をめぐらした集落もありました。 | ○むらの人々をまとめる()が現れました。 ○土地や()をめぐって、他のむらとの争いが起こるようになり ました。 ○技術をもつ者、たくわえをもつ者などが現れて、身分の差が()っていきました。 |
| 古墳時代 | 大仙古墳 | ○()により伝えられた建築や土木工事、養蚕や織物などの進んだ技術が用いられました。 | ○豪族たちが連合して()をつくりました。 ○()による支配は5世紀になると、さらに広がり、九州から関東までの豪族を従えるようになり ました。 |

2 米づくりが広まると、人々をまとめる指導者が現れたり、争いが起こるようになってきました。どうしてだと思いますか。

人々をまとめる指導者が現れたのは、

() 争いが起きたのは、()からです。

() 争いが起きたのは、()からです。